

令和7年3月1日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

### 紀州の梅、豊川の桜

校長 中村 順子

ホームページ  
QRコード



昨年とは違って変わって今年は寒さがたいへん厳しい冬となり、東北や北陸では記録的な積雪となっています。しかし先月末ようやく暖かい日が続いたことで、本校でも紅梅や白梅が満開を迎え、春がもうすぐそこまで来ていることが感じられるようになりました。まさに「弥生3月、春遠からじ」と言えるでしょう。

\*

先月は多くの交流学习が行われました。裏面にもあるように、1年生や2年生、5年生は、近隣の幼稚園と保育園5園をお招きして交流会を行いました。4月から小学校に入学する園児の手を引いて、時には屈み、時には丁寧に視線を合わせながら校内を案内する経験を通して、子供たちは進級への自覚を高めていました。また2年生が1年生を招いた「おもちゃパーティー」を開いたり、3、4年生が今までの総合的な学習の時間の学びを保護者の方々に発表したり、1年間最高学年として本校を牽引してくれた6年生に、縦割り班活動で感謝の気持ちを伝える準備を整えたりと、校内でも多くの関わり合いが見られました。今年度の本校の研究テーマとしている「非認知能力の育成」が、学習場面のみならず生活科や総合的な学習の時間、また日頃の教育活動全般において着実に成果を上げていることをうれしく感じる1か月となりました。

\*

次年度の創立150周年記念事業の一環として、和歌山県・市との交流が始まったことは、先月の学校だよりでもお知らせしました。2月には5年生が紀州神社を訪れて宮司さんにお話を伺ったり、和歌山県の職員の方をゲストティーチャーにお招きして特産品の梅について学んだり、次年度に向けた学習が始動しました。いずれにおいても熱心に聞き入りメモを取る5年生の姿には、次年度の最高学年としての意識が早くも感じられ、頼もしさを覚えました。周年の行事に向け、今後の学びの深まりが楽しみでなりません。また、周年記念事業キャラクター、豊川小のシンボルの桜と、紀州神社の社紋の八咫鳥（やたがらす）から生まれた「さくらす」も、あちらこちらで活躍の場を広げつつあります。

紀州の「梅」と豊川の「桜」が、今後も様々な交流活動を通してつながりを深めていくことを願っています。

\*

この1年間、お子さんに寄り添い、支えてくださった保護者の皆様と地域の皆様のお力添えがあったからこそ、児童が穏やかに、そしてすくすくと、教育目標でもある「おかげ」の心を持ちながら成長することができました。この場を借りて感謝申し上げます。1年間のご支援をありがとうございました。

豊川小学校の子供たちを今後とも温かく見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。



### 6年社会科見学

2月19日（水）に「深川江戸資料館」「国会議事堂」「東京高等裁判所」に社会科見学に行きました。深川江戸資料館では、江戸時代の町並みを再現した展示を見学し、当時の人々の暮らしや文化について学びました。国会議事堂では衆議院本会議場を見学し、日本の政治の仕組みや法律が作られる過程を学びました。最後に訪れた東京高等裁判所では、法廷の見学や模擬体験を通じて、司法の役割や裁判の流れについて理解を深めました。

今回の見学で歴史・政治・司法について実際に触れたことで、子供たちは多くの学びを得ることができました。今回学んだことを自分の生活に「生かす」ことができるよう、残りの日々で支援していきます。

（6年担任 武智 翼）

